

ようろう 議会だより



「一般会計予算過去最大」	ページ
常任委員会・予算特別委員会報告	2
ほかにこんなことが決まりました	4
町の考えを問う（5議員が一般質問）	6
あれから「養老改元1300年祭町民参加」は どうなったんやあ～	8
議会に対しての意見（住民の声）	13
議会ニュース	13
	14

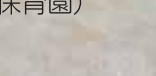
3月
定例議会



ホームページ
<http://www.town.yoro.gifu.jp/>

議会QRコード

なかよし電車 しゅっぱつ！（池辺保育園）



2017.5.1
(平成29年)
No.136

136
号
2017.5.1

発行/2017年5月1日 養老町議会 〒503-1392 岐阜県養老郡養老町高田798 TEL0584-325084(直通) 編集/議会だより編集特別委員会 印刷/盛福印刷機

議会ニュース

垂井町議会との合同研修会を開催

2月9日中央公民館にて県土木事務所職員より養老インターチェンジについての説明を受け、現場視察等の合同研修会を開催しました。



神戸町議会を訪問

3月28日養老鉄道存続特別委員会委員は養老鉄道に乗り、神戸町議会を訪問。広神戸駅前に開館した「ひよしの里」観光交流館と今年1200年の節目を迎える日吉神社を見学しました。



総務民生委員会協議会が西美濃厚生病院視察

3月21日西美濃厚生病院を訪問し、医療現場の現状等の説明を受けました。



産業建設委員会協議会が現場視察

3月28日、平成28年度主要土木事業工事箇所や上水道事業施設を視察し、担当課より説明を受けました。



議会改革特別委員会座談会

3月1日、議会改革特別委員会委員が養老町生活学校の皆さんと座談会を開きました。町民の方からの活発なご意見を直に聞くことができ、今後の議会活動に役立てて参ります。



高齢者叙勲

元養老町議会議員川地敏郎氏が旭日単光章を受賞されました。おめでとうございます。



編集後記

長い冬も終わり春爛漫の季節となりました。平成29年度養老町一般・特別会計予算の審議のため、予算特別委員会(11名選任)を設置しました。3月9日・10日・13日の三日間に渡り予算審査をし、町の姿勢にも慎重さを求めた3月定例議会でした。今後も議会の審議状況等を分かりやすく正確に皆様にお伝えできるよう委員一同、より充実した内容を目指した構成に努めて参ります。(委員長)

議会だより編集
特別委員会

委員	委員	委員	副委員長	委員長
岩永	長澤	田中	三田	早崎百合子
義仁	龍夫	敏弘	正敏	

防災行政無線自動応答ダイヤル 0180-995566

「わたしの声」を待っています。
役場ロビーに意見箱を設置しております

「わたしの声」
の宛先は

〒503-1392 養老町高田798番地 養老町議会事務局内
TEL (0584) 32-5084 (直通) FAX (0584) 32-1812
メールアドレス:14gikai@town.yoro.gifu.jp

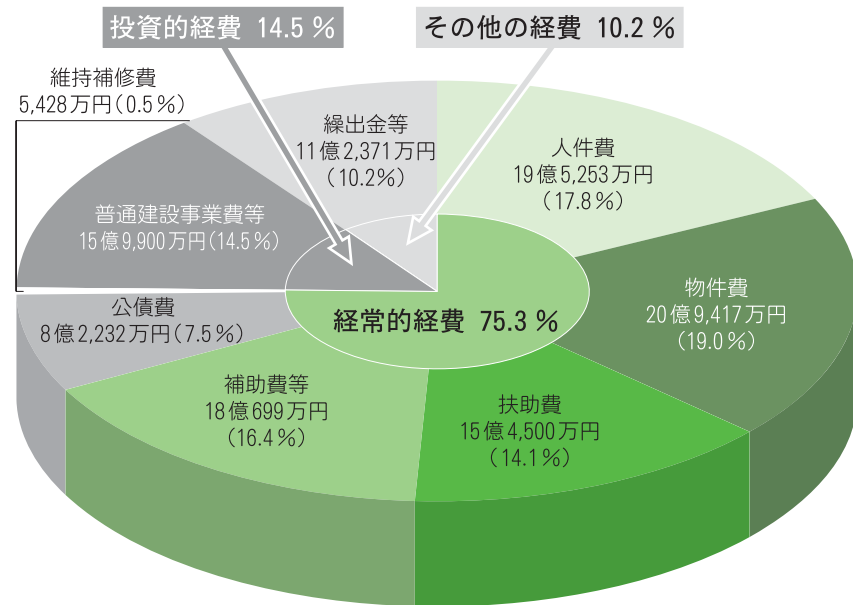


一般会計予算過去最大 養老改元1300年本祭予算決まる

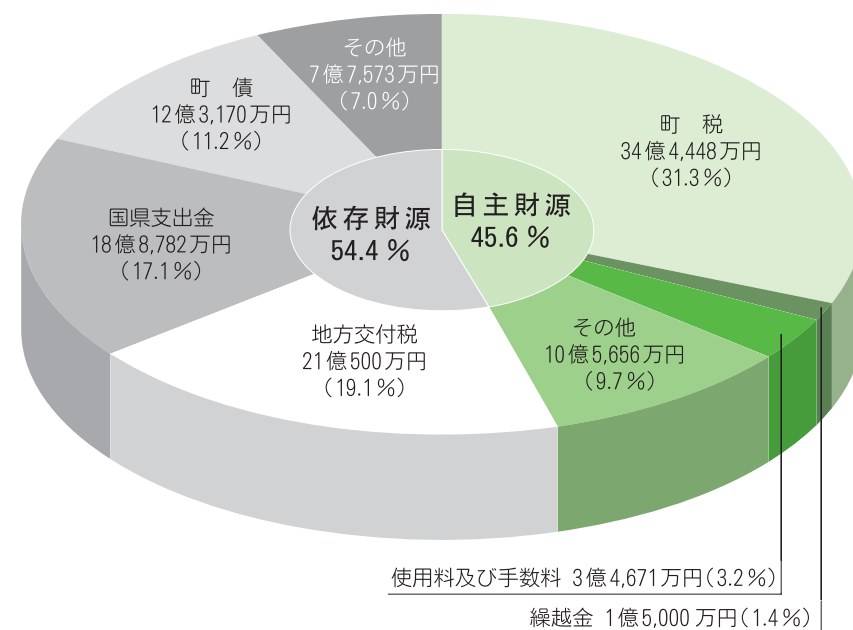
平成29年度当初予算額(単位:万円)

一般会計予算	金額	前年比
一般会計(A)	1,099,800	19,300
特別会計予算	金額	前年比
国民健康保険	444,330	8,780
簡易水道	1,940	50
食肉事業センター	13,640	▲700
住宅新築資金等貸付	1,180	▲250
公共下水道事業	36,380	1,730
農業集落排水事業	3,010	60
介護保険事業	283,500	10,800
介護サービス事業	1,300	150
後期高齢者医療	31,140	1,050
小計(B)	816,420	21,670
企業会計予算	金額	前年比
上水道事業(C)	62,330	▲52,060
総計(A)+(B)+(C)	1,978,550	▲11,090

一般会計歳出



一般会計歳入



3月定例会

平成29年第1回定例会が、3月6日から21日までの16日間の会期で行われました。初日(6日)は、町長から新年度の施政方針が示され、平成28年度一般会計補正予算に関する2議案の専決処分を承認しました。また、全33議案の提案説明を受け、総括質疑を行った後、予算特別委員会の選任と、15議案の審査を委員会へ付託することに決定しました。また、18議案を各常任委員会に付託しました。

2日目(17日)は、5議員が一般質問を行いました。また、その様子をケーブルテレビにより収録しました。最終日(21日)は、各常任委員会委員長及び予算特別委員会委員長から審査報告があり、平成29年度一般会計予算を含む、全33議案を原案のとおり可決しました。また、町営住宅の管理に関する和解についての専決処分の報告を受けました。

用語説明

- 経常的経費…毎年度連続して固定的に支出される経費
- 投資的経費…支出の効果が長期にわたる経費
- 扶助費…生活保護費、児童手当など
- 公債費…国や金融機関から借りたお金の返済
- 物件費…賃金、光熱水費、郵便料、電話料、委託料など

用語説明

- 自主財源…町が自主的に収入できるお金
- 依存財源…国や県から交付されるお金など
- 町税…町民税や固定資産税など
- 国県支出金…特定する事業の財源として、国や県からもらえるお金
- 町債…国や金融機関から借りるお金

本会議での主な質疑及び討論

平成29年度養老町一般会計補正予算

問 町財政調整基金条例に13億円に達するまで毎年度500万円以上積み立てるとあるのは、13億円以上を堅持することが健全財政化や町民の安心安全を確保するために必要不可欠であるためと認識しているが町長の認識は。

答 前年度実績と平成29年度の国の地方財政計画に基づき算出をしている。また平成27年国勢調査で人口が減少したことに伴い減額になる可能性があり、地方財政計画では2・2%減だが本町では4%減で見積もっている。

問 地方交付税減少の要因は。

答 毎年の財政状況を踏まえて今後13億円を堅持するよう努めていきたい。

問 財政調整基金を切り崩した分の今後の対応は。

答 厳しい財政状況で13億円を堅持するのが難しい状況である認識をいただきたい。

反対討論

財政調整基金等を約6億4700万円切り崩し編成されている。基金は町民のいわば大切な貯金であり、条例や地方財政法に基づく丁寧な説明があるべきである。また、養老認定こども園建設事業費について、平成30年度から事業実施主体へ償還金2分の1補助をすることが納得できない。養老改元1300年祭が始まった今こそ、町民から負託を受けた議会のチェック機能が問われる。

賛成討論

平成29年度養老町国民健康保険特別会計補正予算

新年度予算に法定外繰入措置はなく保険料が値上げされる。平成30年度からの国民健康保険の広域連合化により保険料は高くなることも予想され、被保険者にとって3年連続の値上げになることが懸念される。

問 養老改元1300年祭のコストパフォーマンスについて

答 過剰である認識はない。今後のまちづくりの大きな牽引役としてこの見返りは必ずあるものと考えている。

賛成討論

養老改元1300年祭もあり過去最大の予算編成となったが、今後の養老町の活性化、いわゆる地方創生のための予算であると考える。費用対効果を十分検証すべきであるが、養老町の未来のため、本祭を是非成功させていきたい。

賛成討論

国民健康保険は一般会計からの繰入を極力おさえ、加入者の保険料でまかなうのが本来の在り方であり、医療費の増加による保険料の値上げはやむを得ないと考えるが、収納率の向上には努めていきたい。

総務民生委員会

養老町個人情報保護条例等の一部改正

問 一部改正の具体的な内容は。

答 町独自利用事務の情報連携について新たに加えられた。

養老町職員等の旅費に関する条例の一部改正

問 日当の廃止による経費の積算は。

答 一般会計で前年度比367万2千円の減。

養老町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正

問 旧ビニプラのゴミ袋は使用できるのか。

答 ストックしてあるものはすべて使い切るまで有効。

平成28年度養老町一般会計補正予算

問 山口俊郎著作権料の動向は。

答 年度によって大きな開きがあり、カラオケで多く歌われたりCD販売枚数等により変動する。

平成28年度養老町介護保険事業特別会計補正予算

問 地域密着型介護サービス給付費負担金増の要因は。

答 3事業所が地域密着型介護サービス事業所に変更になったため。

産業建設委員会

養老町中小企業・小規模企業振興基本条例の制定

問 本条例に係る町内の企業数は。

答 町内事業所の98%ほどと推測される。

問 企業への支援内容は。

答 労務対策費補助金、地域活性化事業補助金、経営発達支援計画支援事業、中小企業の総合振興支援事業など。

問 商工会に未加入の企業でも適用されるのか。

答 適用される。

養老町非常勤の特別職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正

問 農地利用最適化推進委員の月額基本額9千円にした根拠は。

答 農業委員の月額基本額が3日の活動日数で1万1500円を基準に、農地利用最適化推進委員の活動日数を2・5日と想定し9千円と設定した。

問 農業委員の青年や女性の方の確保は。

答 非農家、女性、青年層の方の応募もあった。

平成28年度養老町一般会計補正予算

問 有害鳥獣駆除事業費減の要因は。

答 計画に対して県からの個体数調整配分等が少なかったため。

予算特別委員会

平成29年度養老町立食肉事業センター特別会計繰入れ

問 今後の繰入額の見通しは。

答 事業収入は年々減少傾向にあり、経費を精査しながらこれ以上繰入額を増やさないような運営につとめたい。

平成29年度養老町一般会計予算

問 養老改元1300年プロジェクト事業の概要は。

答 新生養老まちづくり構想進行管理事業、ひょうたん活性化事業、養老改元1300年本祭事業の大きな3つ

の主要事業費で1億6162万6千円。総事業費は2億1098万9千円。主なものとして、養老の滝ひょうたんイルミネーション総事業費3644万円、養老改元フェスタ総事業費3539万8千円。地方創生推進交付金や清流の国づくり推進補助金等を活用し財源確保に努めている。

問 地域自治町民会議の現状は。

答 設立されている上多度・笠郷地区は、既存の各種団体への補助金について協議し、町民会議へ一括交付できるものは集約した。まだ設立されていない地区については、広幡地区は平成30年4月設立に向けて設立準備委員会が立ち上げられ、他の地区も説明会や勉強会を開催しており、今後も積極的に取り組んでいきたい。

平成29年度養老町介護サービス特別会計予算

問 介護サービス管理事業について、iPad使用中の理由は。

答 医療機関が使用していた情報かなり高度でほかの多職種連携に使用することが難しいと判断した。

平成29年度養老町後期高齢者医療特別会計予算

問 後期高齢者医療の対象者増加見込みは。

答 4260人で120人増の見込み。



問 家族介護支援事業の内容は。

答 要介護4・5で介護サービスを利便せず在宅介護している家族の方が対象。

平成29年度養老町立食肉事業センター特別会計予算

問 新食肉基幹市場新設の状況は。

答 県下を5ブロックにわけて42市町の負担割合を検討したが合意には至らず引き続き協議を進めている。

平成29年度養老町住宅新築資金等貸付特別会計予算

問 不納欠損の考え方は。

答 時効成立しているものの中で、時効の援用がされたものについて不納欠損を行う。それ以外は訴訟も含めて

問 災害備蓄品の内容は。

答 栄養調整食品が3200食、アルファ米が2000食、缶詰が1200食、水が1800リットル、災害用トイレが22基。

問 小学校情報化推進事業のLAN整備は全校となっているがタブレット整備については。

答 各校順次整備していくと整備期間が長くなるため、平成29年度はLAN整備を未整備の学校で行い、そのあと一括でタブレットを整備する予定。

平成29年度養老町国民健康保険特別会計予算

問 平成30年度からの広域化に伴う保険の見直しは

進めている。

問 養北認定ことも園整備事業の予算内訳は。

答 主に池辺育心会に対する整備補助金として4億2598万5千円、第4期工事請負費として699万8千円。事業総額は6億1300万円であり、差額を池辺育心会に福祉医療機構の融資を受けていただいて負担をお願いする。平成30年度以降に、福祉医療機構融資予定額の2分の1を町から償還金補助する予定であるが、少子化や運営の状況を鑑み見直す可能性もある。

問 農地利用最適化推進委員新設による報酬の増額分は。

答 1人あたり月額基本給9千円、加算額1300円であり、26人分の9ヶ月分で合計241万2百円。

問 まるごと肉まつり養老の詳細は。

答 養老公園第2駐車場にて2日間の開催で、出店者数は24店舗程度を予定。出店者は町内店舗を中心とするが、町内の精肉業者等を通じて他市町の出店者も募っていききたい。パークキュー場の設置や、ステージイベントの開催も予定している。

問 東海環状自動車道促進事業の開催と時期は。

答 時期は国が平成29年度としか公表していないため未定だが、1300年祭とからめて実施出来るよう早期の開催を要望している。内容はシンポジウム、ハイウェイウォーキング等を予定している。事業費は1050万円。実行委員会を立ち上げ、委員の様々な意見を聞きながら進めている。

議案	平成 28 年度 養老町 国民健康保険特別会計補正予算（第 4 号）	内容 23 万 2,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 43 億 5,576 万円とする (増減の内訳) 償還金、利子及び割引料 23 万 2,000 円	採決 賛成全員で可決
議案	平成 28 年度 養老町 立食肉事業センター特別会計補正予算（第 1 号）	内容 108 万円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1 億 4,448 万円とする (増減の内訳) 食肉事業センター管理費 108 万円	採決 賛成全員で可決
議案	平成 28 年度 養老町 上水道事業会計補正予算（第 2 号）	内容 収益的収入を 600 万円減額し、予算額を 4 億 7,750 万円とする 収益的支出を 1,010 万円減額し、予算額を 4 億 1,324 万 4,000 円とする 資本的収入を 1,485 万円減額し、予算額を 3 億 7,385 万円に、資本的支出を 4,500 万円減額し、予算額を 6 億 7,060 万円とする	採決 賛成全員で可決
議案	平成 28 年度 養老町 介護保険事業特別会計補正予算（第 3 号）	内容 700 万 1,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 27 億 5,553 万 9,000 円とする (主な増減の内訳) 地域密着型介護サービス給付費負担金 910 万 6,000 円 任意事業 ▲ 529 万 7,000 円	採決 賛成全員で可決
議案	平成 28 年度 養老町 介護サービス事業特別会計補正予算（第 2 号）	内容 34 万 9,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 1,277 万 9,000 円とする (増減の内訳) 介護予防支援事業 34 万 9,000 円	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度 養老町 立食肉事業センター特別会計の繰入れ	内容 4,580 万円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度 養老町 上水道事業特別会計の繰入れ	内容 135 万円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度 養老町 公共下水道事業特別会計の繰入れ	内容 2 億 4,824 万 7,000 円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
議案	平成 29 年度 養老町 農業集落排水事業特別会計の繰入れ	内容 2,318 万 8,000 円を一般会計から繰入れるもの	採決 賛成全員で可決
発議	予算特別委員会の設置	内容 当初予算に関する審査を付託するもの	採決 賛成全員で設置
選任	予算特別委員会委員の選任	内容 水谷久美子、青山貞一、林 輝見、松永民夫、田中敏弘、早崎百合子、三田正敏、大橋三男、長澤龍夫、岩永義仁、北倉義博	採決 賛成全員で選任
報告	専決処分の報告（養老町 営住宅の管理に関する和解）	内容 相手方 滝見町住宅契約者 A 裁判所 大垣地方裁判所 事件名 建物明渡等請求事件 未払賃料等 14 万 9,500 円（分割で支払い）	



ほかにこんなことが決まりました

承認	専決処分の承認（平成 28 年度 養老町 一般会計補正予算（第 6 号））	内容 682 万 2,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 112 億 4,461 万 7,000 円とする	採決 賛成全員で承認
承認	専決処分の承認（平成 28 年度 養老町 一般会計補正予算（第 7 号））	内容 192 万 6,000 円を増額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 112 億 4,654 万 3,000 円とする	採決 賛成全員で承認
議案	養老町 中小企業・小規模企業振興基本条例の制定	内容 中小企業・小規模企業の振興に関し、基本理念や本町の施策の基本となる事項及び責務など、必要な事項を定めたもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 個人情報保護条例等の一部改正	内容 番号法の改正に伴い、法定の情報連携に加えて、町条例で定める独自利用事務の情報連携について所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 職員の勤務時間、休暇等に関する条例及び養老町 職員の育児休業等に関する条例の一部改正	内容 児童福祉法の改正により、養子縁組里親が新たに定義付けられたことに伴い、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正	内容 文部科学省の指導により適正就学指導委員会を教育支援委員会に改めることに伴うもの及び農業委員会等に関する法律の改正に伴い、新制度の農業委員及び農地利用最適化推進委員の報酬を新たに規定するため所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 職員等の旅費に関する条例の一部改正	内容 職員等の旅費のうち、日当を廃止するため所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 税条例等の一部改正	内容 社会保障の安定財源の確保等を図る税制の抜本的な改革を行うための地方税法及び地方交付税法の一部を改正する法律等の一部改正等に伴い、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 国民健康保険税条例の一部改正	内容 被保険者の高齢化や医療技術の高度化などにより医療費が増加傾向にあり、今後も安定的な運営を図るため、保険税率について所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正	内容 平成 29 年 3 月に策定する第 2 次一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの収集方法を一部変更してさらなるごみの減量化と資源化を図ることに伴い、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	養老町 介護保険条例の一部を改正する条例の一部改正	内容 消費税率が延期され現行の軽減を継続する旨の通達があったことに伴い、平成 29 年度における保険料率の特例を規定するため、所要の改正を行うもの	採決 賛成全員で可決
議案	町道路線の認定について	内容 橋爪 1 号線	採決 賛成全員で可決
議案	町道路線の変更について	内容 橋爪 21 号線、橋爪 42 号線	採決 賛成全員で可決
議案	町道路線の廃止について	内容 スマートインター 1 号線、スマートインター 2 号線	採決 賛成全員で可決
議案	平成 28 年度 養老町 一般会計補正予算（第 8 号）	内容 1 億 5,837 万 9,000 円を減額し、歳入歳出予算の総額をそれぞれ 110 億 8,816 万 4,000 円とする (主な増減の内訳) 自立支援給付事業 1,938 万 4,000 円 ケアホーム等整備事業 818 万 5,000 円 私立保育所運営事業 ▲ 2,762 万 2,000 円 児童手当支給事業 ▲ 2,400 万円 高度処理型合併浄化槽設置事業費 ▲ 2,162 万 4,000 円 機構集積協力金交付事業 ▲ 4,326 万 5,000 円 県単工事及び関連事業負担金 1,319 万 1,000 円	採決 賛成全員で可決



◆ 早崎百合子 議員

問 事業計画案は各地域から提案されているが、具体的な計画は未定であり、4月に入り各地域と委託契約を進める。

答 進捗状況は。

問 「地域の日」を実施するに至った経緯は。

答 本祭事業企画を実施する養老改元1300年祭実行委員会等で検討。

問 養老改元1300年祭本祭記念事業であり、町のイベントに加え町内11地区において、本祭の趣旨にのっとり主体的かつ自立的に事業を企画・運営し、地域の魅力を広く発信する事業である。

町長 各地域と委託契約を進める

1300年祭

「地域の日」は

問 広報よろうろ及び町ホームページ等に記載し、周知する。

答 広報よろうろ及び町ホームページ等に記載し、周知する。

問 委託契約により確定した行事内容の全町への情報発信は。

答 均等割り、世帯数割りの支出予定。

問 企画運営業務委託額は。

答 委託契約により確定した行事内容の全町への情報発信は。

認知症予防の新規事業は

町長 タッチパネル式コンピュータを導入



タッチパネル式コンピュータイメージ

問 認知症を予防できるまちづくり、また、住み慣れた地域で支えられるまちづくりを目指して。

答 有効性を確認したので6月初旬を目途に導入。

問 タッチパネル式コンピュータ(物忘れスクリーニング検査)導入時期は。

答 一般住民への周知方法は。

問 広報よろうろに事業内容を記載し、年内に町内全ての地区で「巡回型認知症講座」の講演会を開催する。

問 池辺小学校では薩摩義士に関する資料を展示し、薩摩義士踊りを運動会で発表している。慰霊祭や法要にも参加。鹿児島市へ中学生4名を派遣して交流も実施。ふるさと養老テキストで偉業を伝承。



平成28年実施 鹿児島市立甲東中学校にて交流

問 鹿児島からの史跡訪問への対応は。

答 現在、市町との相互交流はないが、鹿児島市教育委員会の協力を得て、高田中・東部中の代表が鹿児島市立甲東中学校で実施の交流会を継承していきたい。

問 薩摩義士ゆかりの鹿児島県市町村との交流は。

答 平成26年に交流している鹿児島市立甲東中学校生徒らの13名を迎え、史跡を案内した。毎年7月下旬に日置市の小・中学生が来訪し、史跡巡りの際、天照寺で出迎えをしている。

問 総合的な施策をどのように展開していくのか。

答 一次、二次検査を行い、認知症サポート医による面談を実施。専門医療機関への紹介。MCIの人には介護予防教室の参加を促す。

問 物忘れ相談プログラムの検査結果は。

答 現在、市町との相互交流はないが、鹿児島市教育委員会の協力を得て、高田中・東部中の代表が鹿児島市立甲東中学校で実施の交流会を継承していきたい。

問 薩摩義士ゆかりの鹿児島県市町村との交流は。

答 平成26年に交流している鹿児島市立甲東中学校生徒らの13名を迎え、史跡を案内した。毎年7月下旬に日置市の小・中学生が来訪し、史跡巡りの際、天照寺で出迎えをしている。

町長 タッチパネル式コンピュータを導入

問 認知症を予防できるまちづくり、また、住み慣れた地域で支えられるまちづくりを目指して。

答 有効性を確認したので6月初旬を目途に導入。

問 タッチパネル式コンピュータ(物忘れスクリーニング検査)導入時期は。

答 一般住民への周知方法は。

問 広報よろうろに事業内容を記載し、年内に町内全ての地区で「巡回型認知症講座」の講演会を開催する。

問 池辺小学校では薩摩義士に関する資料を展示し、薩摩義士踊りを運動会で発表している。慰霊祭や法要にも参加。鹿児島市へ中学生4名を派遣して交流も実施。ふるさと養老テキストで偉業を伝承。



平成28年実施 鹿児島市立甲東中学校にて交流

問 鹿児島からの史跡訪問への対応は。

答 現在、市町との相互交流はないが、鹿児島市教育委員会の協力を得て、高田中・東部中の代表が鹿児島市立甲東中学校で実施の交流会を継承していきたい。

問 薩摩義士ゆかりの鹿児島県市町村との交流は。

答 平成26年に交流している鹿児島市立甲東中学校生徒らの13名を迎え、史跡を案内した。毎年7月下旬に日置市の小・中学生が来訪し、史跡巡りの際、天照寺で出迎えをしている。



◆ 岩永 義仁 議員

答 現在、法的措置に進んでいる案件はない。

問 法的措置の実施は。

答 未納発生の場合には督促状を送付し、年に1度全滞納者に対し納付催告書を送付している。

問 滞納者への対応は。

現在、押越、下高田、岩道にある町営住宅において11世帯で163か月分、合計500万円ほどの滞納があり、高額なものは200万円ほどの滞納者世帯がある。

問 今後の方針は。

答 納付誓約済の世帯で、理由なく誓約どおり履行されない場合や、誓約等の話し合いができない等相手方に相当の非があると思われる場合には法的措置も視野に入れて対処していく。



町営住宅

町長 納付催告書を送付している

町営住宅の滞納処理は



◆ 大橋 三男 議員

問 南部分署は、救急や火災出動の際は施設して留守となる。適切な消防体制を整備する組織の増強は。

答 今後は、災害事案増をも考慮した職員配分の検討や増員を視野に入れた対応、緊急対応等、日勤者の配置も考慮し検討する。

問 鳶はしご登りは、消防団のみで運営されているが団員の負担軽減の策として、一般者の協力を促し、保存会や同好会等の組織での運営方法の見解を。



消防団 鳶はしご登り

町長 現状では充足している

消防活動の再考を

答 消防団の行事として行っているため、団員に多大な負担をかけている。将来的には保存会（後援会）に向けた組織化の運営方法について検討しなければならぬと思っている。

問 当町が世話になっている金沢市、恵那市の運営形態は。

答 金沢市加賀鳶はしご登りは、保存会を組織している。恵那市においては、消防本部組織で運営されている。

ネーミングライツの導入提案

町長 導入に向け進めていきたい

46（ヨロー）ツアード開催の提案についても質問しました。

答 導入には課題もあるが、厳しい予算状況の中で自主財源を確保することは重要である。ガイドラインや要綱の整備を行い、導入に向け企業の公募等を進めていきたい。

問 予算規模が肥大化していく中で自主財源確保のために導入してはどうか。

プロ野球の「ヤフーBスタジアム」やサッカーJリーグの「味の素スタジアム」、県内では「ヒマヤアリーナ」のように、公共施設の命名権を販売することで収入を得る制度にネーミングライツがある。

国策に準ずる町行政は

町長 慎重に検討

問 マイナンバーカードを活用してコンビニ等で住民票や印鑑証明が発行できるシステム改修費等、国庫補助金の活用、及びカードの申請率と近隣市町の動向は。

答 既存設備等を含めた費用対効果、またカードの普及が低迷していることを踏まえ、慎重に対応する。申請率は、2月末で7・4%と低迷し、コンビニ活用は大垣市のみで導入している。

問 ふるさとづくりに取り組む地域を支援する「実践支援チーム」の派遣の施策についての活用は。

答 本町においても観光振興等に資する施策を検討する場合、外部からの視点は必要である。国の動向を注視し検討していく。

このシリーズは、過去の定例会（今回は平成28年3月議会）での一般質問に関して、その後の状況をお知らせするものです。

「町民参加型の1300年祭を」
「こうなりました」

現時点では、各地域内での実施も可能にしたため一箇所での開催はできないが、それぞれの地区住民がこぞって参加する「地域主体」のイベントが実施される予定です。

また、観光ボランティアについては、親孝行のふるさと会館と養老駅内観光案内所がリニューアルしましたので、現在、ガイドの養成段階にあります。

町内には、養老鉄道が走っており、長距離を走るマラソン大会の会場には不向きであるため、東海自然歩道や町内を通る古道、また養老三滝をめぐるウォーキングを企画しています。

その他にも、体験型博覧会の「養老まるごと玉手箱」や「養老の宝物46選」を活用した「養老かるた」など、住民が主体となつてプログラムを提供したりイベントを開催するなど、養老改元1300年祭に多くの町民の方に参加して頂きたいと考えています。

養老改元1300年祭の本祭期間中に「地域の日」を設けて、各地域に働きかけをしています。伝統芸能など各地域の特色を活かした事業を催してもらつたよう依頼しています。

6月に定例会を開会の予定です。ぜひ傍聴にお越しください。
(詳しい日程については、「広報よろう」6月号と町ホームページでお知らせします。ご不明な点は、議会事務局までお問い合わせください)

前号 (No.135) のお詫びと訂正
「一般質問」掲載ページの「清華苑の運営は」の中で、一部誤りがありましたこととお詫び申し上げ、次のように訂正いたします。
(誤) 刑事裁判 → (正) 刑事告訴

ようこそ議場へ
2月8日、広幡小学校6年生の皆さんが、社会科学習の一環として議場を訪れ、議会のしくみなどを勉強しました。



議会に対しての意見 シリーズ 20

■ 住民の声 ■

このシリーズは、町内の各種団体の代表や副代表等の方へ、編集委員が意見をお聞きし、その記事を掲載するものです。

(養老町M・Sさん)

現町議会の議員を大別すると次の三つがあるのでは。

一つは、自分の選挙地盤である地区や組織のためにのみ尽力するタイプ。いわゆる行政機関への口利きに奔走することを本分としている議員です。

二つ目は、地方行政についての研鑽を積み、自分の得意分野から、町民の立場に立脚して町の将来への提言をすることに努力を続けている議員です。

そして最後は、議員として研修をなおざりがちに、なぜ立候補したのか。志は？ が窺えない。「年金補填」かの陰口が最もらしく思える議員です。

町にとって、どの議員が良いのか。今後、政策で論争できる激しい選挙戦で、質の高い議員を選出するためには、町民一人一人の意識改革も問われます。



◆ 水谷久美子 議員

町長 広報等で丁寧の説明する
政策転換 町民への周知は

問 町長が認識する養老町の壁とは何か。
答 施政方針には、憲法や地方自治が定める「個の尊厳」や「住民福祉の向上」に照らし、違和感を覚える。また、これまでの町の施策を大きく見直す内容である。

問 北部下水道事業計画は、「特定環境保全公共下水道」を採用し、平成17年頃まで議論されてきた。施政方針には、これまでの町の方針を転換する内容であるか。
答 北部下水道事業計画は、「特定環境保全公共下水道」を採用し、平成17年頃まで議論されてきた。施政方針には、これまでの町の方針を転換する内容である。

問 自治町民会議を採用しない地区の自主性は担保されるか。
答 区長主導から自治町民会議を中心にした町づくりを進める。

問 集合処理には、多大な費用と長い期間を要するため今後は「合併処理浄化槽」を推進する。広報やホームページで公表し周知する。
答 集合処理には、多大な費用と長い期間を要するため今後は「合併処理浄化槽」を推進する。広報やホームページで公表し周知する。

地区別高度合併浄化槽設置状況 (単位：戸)

年度	高田	養老	広幡	上多度	池辺	笠郷	小畑	多芸西	多芸東	日吉	室原	計
平成15年度	14	26	38	80	72	108	68	21	23	43	16	509
平成27年度	59	54	185	278	249	459	249	69	92	157	80	1,931

小・中学校のエアコン設置を
中学校から検討したい

問 新年度予算には、学校普通教室へのエアコン設置関連の予算が計上されていないか。
答 暖房機・冷房機を合わせ早急に方向性を出したい。経年劣化の学校対応を優先させ、中学校から設置していきたい。

問 子ども達が養老町への関心や愛着を高めるため、子ども向けホームページの新設を求める。
答 情報モラル教育の推進と合わせ、作成ができるよう検討していきたい。

問 劇団「四季」の鑑賞を養老町の児童にも。
答 高額な費用が発生するため、実施可能かも含め検討していきたい。

問 養老町緊急通報システム事業についての質問もしました。
答 養老町緊急通報システム事業についての質問もしました。